

事務事業評価シート

(H.29)No.	6023	(H.28)No.	6023
-----------	------	-----------	------

事務事業名	公平委員会費		
担当部局名	担当室名	室長名	
公平委員会事務局	公平委員会事務局	牧田 優	

会計区分	事業コード	027001
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 総務費	公平委員会費	
項 総務管理費	(小事業名)	
目 公平委員会費	公平委員会費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	
	基本施策	
	施策	
重点プロジェクト		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
第三者機関による公平審査により人事行政の公正さの確保をめざします。
事業内容
職員にかかる不利益処分に対する不服申立て及び勤務条件に関する措置要求に対して裁決・判定を行います。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)		H.29年度(事業量・取組計画)		
	主な事業の実績・計画	公平委員会業務内部管理事務(不利益処分に関する不服申立審理、措置要求に関する審理等) ・平成28年度 定例会3回開催 ・全国公平委員会連合会東海支部総会研修会(高山市)に委員1名が参加 ・三重県公平委員会連合会総会事務研究会(四日市市)に委員2名参加	公平委員会業務内部管理事務(不利益処分に関する不服申立審理、措置要求に関する審理等) ・平成29年度 定例会3回開催予定 ・全国公平委員会連合会東海支部総会事務研究会(沼津市)に委員長参加予定 ・三重県公平委員会連合会総会事務研究会(津市)に委員3名参加予定	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
			公平委員会業務内部管理事務(不利益処分に関する不服申立審理、措置要求に関する審理等)	公平委員会業務内部管理事務(不利益処分に関する不服申立審理、措置要求に関する審理等)	公平委員会業務内部管理事務(不利益処分に関する不服申立審理、措置要求に関する審理等)

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費		198千円		347千円	347千円	347千円	347千円
内訳(千円)	国・県支出金						
	地方債						
	その他()						
	一般財源	0	198	0	347	347	347
人工数	職員		0.45人	0.45人	0.45人	0.45人	0.45人
	臨時職員等		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	0千円	3,375千円	0千円	3,375千円	3,375千円	3,375千円	3,375千円
①+②総事業費	0千円	3,573千円	0千円	3,722千円	3,722千円	3,722千円	3,722千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
・平成28年度は不服申立て等の公平審理事案はありませんでした。 ・委員が研修会に参加し、公平委員会で委員と情報共有するなど、公平審理のスキルアップ、人事行政の公平さの更なる確保に努め、効率的な市政運営に貢献する取組に努めました。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
職員にかかる不利益処分に対する不服申立て及び勤務条件に関する措置要求があった場合、必要な審理、裁決・判定を行います。そのため、市の人事関係事案や他市の状況等、情報収集しながら委員、事務局職員ともに研鑽に努めます。 法律に定められている委員会であり、職員を身分上、経済上保障し、人事行政の公正性を確保するために必要であり、公正・中立な第三者機関として、継続的に事業を進めていきます。	